

## 県民フォーラム意見について（第39回～第42回）

## 1 はじめに

「水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム」（以下「県民フォーラム」という。）は、水源環境保全・再生の取組について、県民の意見を幅広く収集するとともに、水源環境保全・再生に係る情報の提供・発信等を目的に「水源環境保全・再生かながわ県民会議」（以下「県民会議」という。）が開催するものである。

第38回県民フォーラムまでに収集した県民フォーラム意見については、これまでに取りまとめた上、県に対して報告を行い、県から報告に対する回答を受けている。

このたび、平成30年度に実施し、第42回県民フォーラム分までに収集した県民フォーラム意見について取りまとめたので、県に対して報告するものである。

なお、第28回県民フォーラムより、もり・みずカフェを単独開催ではなく、他団体が主催するイベントに出展し開催するなど、新たな開催手法も取り入れることで、効率的な県民意見の集約や情報発信に努めている。

## 2 県民フォーラム（第39回～第42回）の結果概要

第二十九回 (もり・みずカフェ)	日時	平成30年5月26日（土）10:30～17:00
	会場	横浜そごうB2階「新都市プラザ」（横浜市西区高島2-18-1） ※同日開催「かながわ家づくりフェア2018」で実施。
	出席者	県民フォーラムチーム（コミュニケーションチーム兼所属者も含む） 小笠原 多加子、上宮田 幸恵、倉橋 満知子、西 寿子 森本 正信 コミュニケーションチーム 高橋 貴子、増田 清美
	参加者数	869名
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施策の紹介、アンケートの実施（回答者へは記念品を贈呈）</li> <li>・水源施策紹介パネル、剥製（シカ、イノシシ）の展示</li> <li>・各種広報資料の配架（リーフレット「森は水のふるさと」、「支えよう！かながわの森と水」等）</li> <li>・着ぐるみ「しずくちゃん」による演出</li> <li>・カートカン（紙製飲料缶）、飲料水（ペットボトル）の配布（アンケート回答者のうち希望者）</li> <li>・シールラリーの実施</li> <li>・しずくちゃんグッズ（風船、缶バッジ等）の配布</li> </ul>
第四十回 (もり・みず)	日時	平成30年8月5日（日）10:00～16:00
	会場	西武東戸塚店 オーロラモール館7階ファーストブリッジ （横浜市戸塚区品濃町537-1） ※同日開催「2018ECOフェア」で実施
	出席者	県民フォーラムチーム（コミュニケーションチーム兼所属者も含む） 小笠原 多加子、上宮田 幸恵、佐藤 恭平、豊田 直之

		西 寿子、森本 正信 コミュニケーションチーム 滝澤 洋子、増田 清美
	参加者数	230名
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施策の紹介、アンケートの実施（回答者へは記念品を贈呈）</li> <li>・水源施策紹介パネル、剥製（シカ、クマ）の展示</li> <li>・各種広報資料の配架（リーフレット「森は水のふるさと」、「支えよう！かながわの森と水」等）</li> <li>・カートカンの配布（アンケート回答者のうち希望者）</li> <li>・着ぐるみ「しずくちゃん」による演出</li> <li>・しずくちゃんグッズ（風船、うちわ等）の配布</li> </ul>
第四十一回（もり・みずカフェ）	日時	平成30年9月22日（土）10:00～17:00
	会場	川崎アゼリア サンライト広場（川崎市川崎区駅前本町26番地2） ※同日開催「かながわの水源地域キャンペーン」で実施
	出席者	県民フォーラムチーム（コミュニケーションチーム兼所属者も含む） 相川 健志、小笠原 多加子、上宮田 幸恵、倉橋 満知子 豊田 直之、西 寿子、森本 正信 コミュニケーションチーム 高橋 貴子、増田 清美
	参加者数	415名
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施策の紹介、アンケートの実施（回答者へは記念品を贈呈）</li> <li>・水源施策紹介パネル、剥製（シカ）の展示</li> <li>・各種広報資料の配架（リーフレット「森は水のふるさと」、「支えよう！かながわの森と水」等）</li> <li>・カートカンの配布（アンケート回答者のうち希望者）</li> <li>・着ぐるみ「しずくちゃん」による演出</li> <li>・しずくちゃんグッズ（風船、缶バッジ等）の配布</li> </ul>
第四十二回（ワークショップ形式）	テーマ	かながわの森と水を守ろう
	日時	平成30年12月1日（土）10:30～16:00
	会場	厚木市立あつぎ市民交流プラザ（厚木市中町2丁目12-15）
	出席者	施策調査専門委員会 太田 隆之、大沼 あゆみ、岡田 久子、鈴木 雅一、土屋 俊幸 羽澄 俊裕、吉村 千洋 県民フォーラムチーム（コミュニケーションチーム兼所属者も含む） 倉橋 満知子、豊田 直之、小笠原 多加子、佐藤 恭平、 西 寿子、上宮田 幸恵、森本 正信 コミュニケーションチーム 滝澤 洋子、増田 清美 上記以外 青砥 航次、服部 俊明
	参加者数	141名
	内容	【午前の部】10時30分～12時00分

《メイン会場》

- (1) 開会挨拶…県民会議 鈴木座長
- (2) これまでの取組について  
水源環境保全課、自然環境保全センター、環境科学センターからの取組紹介
- (3) 有識者による評価発表
  - ・「神奈川県水源環境の取組の評価 ～経済評価の観点から～」  
慶應義塾大学 教授 大沼 あゆみ
  - ・「森林・林業と市民参加の視点から：かながわ水源環境保全の取組の評価」  
東京農工大学大学院 教授 土屋 俊幸
  - ・「水源環境と水道」  
東京工業大学環境・社会理工学院 准教授 吉村 千洋

《子ども会場》

市民団体、県による体験教室や展示等

- ・ 水質実験教室：(特非)神奈川環境学習リーダー会
- ・ どんぐりを使ったおもちゃ作り：(特非)四季の森里山研究会
- ・ クリスマスリース作り、しめ縄作り、竹ぽっくり作り：(特非)四十八瀬川自然村
- ・ 紙芝居、クイズ：水源環境保全課
- ・ かながわ県産木材つみき：森林再生課
- ・ 生き物展示：環境科学センター

【午後の部】 13時00分～16時00分

- (1) 討議の趣旨・論点説明
  - (2) 討議（分科会（4グループ）、移動・休憩を含む）  
A～Dの4グループ（1グループ23名）に分かれ、テーマ「これまでの取組、これからの方向性や将来像」について討議した。
  - (3) 各グループ発表・質疑・意見集約  
分科会の各グループリーダーから討議概要を発表、発表内容に関する質疑及び意見交換、全体での意見集約を行った。
- ・ その他：もり・みず市民事業支援補助金申請相談コーナーの実施  
本会場後方を利用し、補助団体活動紹介パネルの展示・施策紹介パネルの展示・各種広報資料の配架を実施

### 3 県民フォーラム意見

第39回～第42回県民フォーラムにおけるアンケート集計結果及び個々の意見内容は、別紙のとおりである。

### 4 県民フォーラム意見の傾向について（第39回～第42回）

県民フォーラムで寄せられた意見について、「森林整備」、「水源環境への負荷軽減」、「情報提供・普及啓発」、「市民活動支援」、「県外対策」、「水源地域の活性化等」、「その他」の7項目により分類した。結果は下記表のとおりである。

水源環境保全・再生施策についての「森林整備」、「水源環境への負荷軽減」、「情報提供・普及啓発」、「市民活動支援」、「水源地域の活性化」に関する意見が寄せられた。主な意見としては、「森と水の大切さがわかりました」「取組を若い世代にもっと広めて欲しい」等が寄せられた。なお、「その他」の項目には県民フォーラムの感想や運営に関する意見等を分類した。

第39回～第42回県民フォーラム 項目別意見件数

項目		意見件数				
		第39回	第40回	第41回	第42回	計
1	森林整備	3件	0件	1件	4件	8件
2	水源環境への負荷軽減	3件	0件	1件	2件	6件
3	情報提供・普及啓発	6件	6件	6件	2件	20件
4	市民活動支援	0件	0件	0件	1件	1件
5	県外対策	0件	0件	0件	0件	0件
6	水源地域の活性化等	0件	0件	0件	0件	0件
7	その他	146件	36件	53件	17件	252件
計		158件	42件	61件	26件	287件

## 第39回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム(もり・みずカフェ)意見集約表(意見・感想記入欄に記載された意見等)

番号	項目	記載内容
1	森林整備	山の手入れが大変でコストが掛からないようにすべきです。税金が掛からないようにして下さい。
2		植林を永続して行う
3		山林の保全を永久に守って貰いたい
4	の水 負源 荷環 境 軽境 減へ	きれいな水の保持に協力すべき。
5		個人レベルでも生活排水をきれいに心掛けます。
6		水は大事なものであるため今後とも環境保全と再生に尽力して欲しいです
7	情報 提供 ・ 普 及 啓 発	水が資源であることを、もっとPRすべき。特に子供達に教える方法が必要。
8		大切な水を守るため、子供へのアプローチをお願いします。
9		取組を広く知られる為にたくさん活動をお願いします
10		子供の教育に自然教室として取り入れるのも良いのではと思いました
11		税金を支払うだけでなく、こういうイベントで説明していただける場があるのは良いと思った。
12		活動についてよく知られていないのでもっとアピールした方が良いと思います
13	その 他	花粉でない杉の開発はおどろいた！今の子供たちが大人になる頃、杉アレルギーがなくなると良いですね。
14		山を切り下し家が建っているが、それだけのお金を集めている価値があるか、役立てられているか？
15		山の手入れは大切。神奈川は昔からおいしい水なので大切に使いたい
16		木材の家はとても良いですね
17		森林が荒れているニュースを目にしていることがあり、美しい森林がある日本であって欲しい
18		水は人間が生きていく上でとても大切なものです。自然環境を大切に、良い水を作っていききたい！
19		水や資源を大切にしようと思った。
20		水は大切にしたい。
21		良質の水を供給して下さっている方々に感謝。
22		安全な水資源は、生活していくうえで大切だと思う。
23		生活に必要な不可欠なお水なので、無関心ではられない。
24		横浜の水は安全・安心と多くの方が言うのを耳にします。これからも安全で安心なお水が横浜市民のもとにとどくよう、お願いいたします。(ぜひ国民が森や川をきれいに保とう！と思えるような働きかけもお願いします。)
25		孫達と夏休等でキャンプによく行く。横浜市の水は特においしいと言われているので、あまり汚くならない様に皆で気を付けようと思う。
26		これからも、きれいな水を使いたい。
27		水源(水)の無駄をなくす努力をしよう！
28		人間は水なしでは生きていけません。水は大切ですね！
29		水は大切にしたいと思う。
30		良い水をいつまでも保ってほしい

番号	項目	記載内容
31	その他	今回初めて「水」について知識を得る事が出来ました
32		恩田川の近くに住んでいます。もっときれいになって欲しいと思います
33		横浜は水がきれいな所だと思い住んでいます。以前住んでいた東京の水はニオイがありました
34		水は大切なので守って欲しい
35		排水浄化も大切に
36		税金が掛かるなら、今のままでいいかな？と思う。日本は特に水が不足しているわけではない。
37		一般財源で対応できるようにできたら、安定した活動につながると思う。
38		義務にしないと、任意で協力できる人が少ない。
39		森林整備に大事に使って欲しい。
40		このことに取り組み頑張っている人のことを思い、水資源のことを考え、水を大切に使いたい。
41		いまのままで、ひきつづきやったほうがよい。
42		今後も継続して行ってほしい。
43		環境保全に関しては土地管理含め、しっかりお願いしたい。
44		出来ることなら協力していきたい。環境保全は大切な事だと思う。
45		これからは自然災害が多くなると思うので、しっかり取り組んで貰いたい。
46		神奈川県は全般に水不足の心配はないが、より県民が安心して生活できる仕組みを構築して下さい。
47		税金を払っていたのを知らなかったので、知ってよかった。
48		自然が守れるなら、税金を払ってきれいな空気や、きれいな水を飲めるように、もっと協力したいと思った。
49		有効利用して、将来の子孫にも安心して飲める恵の水が湧き、守られますよう。
50		税金を余計に払っているの知らなかった。きちんと使用していただけるなら、必要な税金と思う。
51		大切なお水です。安心安全のため続けていく事。
52		水は大切なので税金がかかってもしょうがないと思う。
53		水源地の保全、下草刈など、やって頂きたい。
54		水源環境保全税は大切な取組だと思います。漠然に思っていました。もっと知識を持って考えたいと思いました
55		引き続けて欲しい
56		ぜひ続けて行って欲しい
57		自治体だけでなく、県民が一緒になって取組む事が必要だと思う
58		税を有効に使って欲しい
59		これからもっと推進させてください
60		良い取り組み
61		神奈川県は、豊富な水源があるので、今後とも環境保全・再生に役立てて欲しいと思います
62		森がきれいになるなら仕方ない
63		取組は大事な事だと思います
64		どこで税は取られているのか 水道代に入っているのか

番号	項目	記載内容
65	その他	個人県民税の超過課税が分かりづらい
66		良い取り組みだと思います
67		特別な税を使っていてビックリした
68		もう少し水源を大事にする取組が広がれば良いと思います
69		税金を有意義に使って水を守って頂けたらと思います
70		税金を増やして行くかは別として、水資源の保全・再生については拡大すべきだと思います
71		これからも豊かな水源を守るために続けて欲しい
72		水質を保つために、環境を整備しなければ森が守れないので
73		保全・再生の取組を今後もお願いします
74		環境保全再生の取組は大変。とても良いと思います
75		おいしい水があることを、まずは県民がわかること。
76		有限の資源である認識を高めていく必要がある。
77		参加出来るイベントはありませんか
78		自然に添って良い企画と思える。実行して行って欲しい。
79		チップいただいて家に帰って活用したい。
80		現状と今後の課題について知ることができた。
81		説明頂き大変良くわかりました。
82		環境保全と水の関係をよく理解できました。
83		機会がある事？に取組に参加したい。寄付箱の設置
84		水道との関係を明確にして、理解を求めべき。下水道対策も
85		面白い企画でした。少し興味が湧きました
86		この様なイベントをまたやって欲しい
87		将来に向けて継続した取組に賛同です。ポスターが小さいです。もっと大きい方が見やすい
88		もっと説明を。PRをして理解度を高める事が大切です
89		勉強になりました。ありがとうございました。
90		大切にしないといけないと思う。
91		水源は守られるべきもの考える。
92		大切なお話、ありがとうございました。
93		今後も期待しています。
94		いつもありがとうございます。
95		北海道が外国人に土地を取得されている。そのようなことにならないように、しっかり取り組んでください。
96		知らないことがたくさんあってビックリした。
97		水源環境は守っていかなければと思った。
98	とても参考になりました。	
99	水や森のことを知れた。	

番号	項目	記載内容
100	その他	ボランティアをしたいけど、体が自由にならないので。
101		県民全体で、もっと意識を高めるべき。
102		命です。
103		いつまでも、おいしい水が飲めるように対策が必要だと分った。
104		大切なことだと思う。
105		がんばって下さい。
106		緑化へ!!廃棄物減少 見直し徹底
107		いつまでも大切な水をいただける様に、少しでも守っていきたい。
108		水源環境保全を守っていく
109		ゴミを捨てないように
110		神奈川の水は大変おいしい。
111		おいしい水を維持して下さい。
112		夏など、ダムのおかげなのか、水不足にならず助かります。
113		自然を大切にするのは、いいことだと思う。
114		アウトドアが趣味なので、キレイな水は大切にしたい。
115		水資源の大切さを知る。節水に努める。
116		水源地は大切にしていきたい。
117		限られた資源を有効に活用しないと、と感じた。
118		山梨の水の源を今に先人に感謝
119		水源の大切さを初めて知りました
120		安全な水源が必要
121		周知活動をもっと期待します
122		もっと良く知りたいと思いました
123		子供の世代が大きくなった時に困らないような環境を作っていかなければならない
124		小・中学校の授業で取り上げられているのか？子供の時から教育の一環で伝えて頂ければ良い
125		もっと勉強したいです
126		勉強になりました
127		私も勉強していきたいと思いました
128		水源保全や再生は大切だと思います
129		理解するようがんばります
130		都市人口が増えるので大切だと思う
131		体の安心の為
132		知らない事ばかりでした
133		大事な事と思います
134		森を守ることの大切さを感じました
135	環境保全の大切さを子供達にも教えていきたい	



番号	項目	記載内容
136	その他	今まで知らずに過ごしてきたので、少しためになりました
137		山梨県は水源地が多いのですが、中国人の見学者が多いです。土地の買収とか心配しています
138		自然を守りたいという県民を増やせればと思います
139		ためになった
140		神奈川県を自然を保全するべきだと思いました
141		きれいな森と水を作ってくださいと感動しています。応援しています。
142		イノシシ、シカを有効に利用したい
143		自然を守る
144		是非水源の保全をやって貰いたい
145		きれいな美味しい水をこれからも提供して欲しい
146		家庭から節水をしたい
147		お金を取るのを知らなかった
148		もっと力を入れて欲しい
149		シカの処遇は、生かしたまま捕獲し、動物園に寄贈するのも一手段かと思います
150		勉強になった
151		環境汚染対策をやってください。山梨県も水を大切にしていると感じた(北杜市など)
152		水道水が美味しくなって欲しい
153		これからはしっかりとした取組をお願いしたい
154		啓発活動は大切だと思います。頑張ってください
155		自分たちの出来る事から取り組んで行きたいと思います
156	水が一番大切	
157	子供達にはきれいなままの地球を残してあげたい	
158	山を守れば水源がきれいになると思います	

第40回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム(もり・みずカフェ)意見集約表(意見・感想記入欄に記載された意見等)

番号	項目	記載内容
1	情報提供・普及啓発	市民に対する水源ツアーの回数を増やして欲しい。
2		横浜市内の小学校全域で、より積極的な働きかけにより、環境教育をしていただきたい。
3		啓蒙活動について、さらに進めるべきだと思う。
4		税のことをもっと周知させると、水について関心が深まると思う。
5		使用目的を、もっと宣伝すべき。
6		何を行っているのか、全く知られていないと感じる。
7	その他	一人一人が水を大切に、生活していけたらいいなと思います。
8		水を大切にしたいです。
9		水を大切にします！
10		水を大切にします。
11		水は大事に使います。
12		横浜の水は、おいしいです。
13		これからも水を大切にします。
14		はじめて水のことが知れてよかった。
15		水がもっと豊かになって欲しいです。
16		神奈川県は、水不足になる心配が少なくて良い。
17		水を再生することは、とても大切だと思います。
18		水不足にならない神奈川は、素晴らしいと思う。
19		毎日、美味しくてたまらない水が飲みたいからです。
20		日常生活に欠かせない水の大切さを改めて知りました。
21		子どもが生まれて、より、水はキレイな方が良いと思いました。
22		水は大切だから、これからも環境のために、していきたいと思いました。
23		もっと水のことを詳しく知りたいです
24		神奈川は昔から計画的にダムが管理が出来ていて、水不足になることなく助かっています。今後も計画的な対応をお願いします。
25		平等でない。
26		素晴らしい取組だと思います。
27		税金の無駄遣いをして欲しくない。
28		活動を応援しています。頑張ってください！
29		横浜市のみどり税と国の新税を含め、統合した税体系とすべきと考える。
30		これからパンフレットで理解したい。
31	はじめて知ったことが多かったのでよかった。	

番号	項目	記載内容
32	その他	環境をよくするために努力し、呼びかけていていいと思います。この先水がキレイでいてほしいです。
33		森は、動物はもちろん、人間にとっても必要不可欠な財産なので、このような活動は大いにしていきたいと思います。
34		知らなかったので、役に立ちました。
35		勉強になりました。
36		もう少し詳しく知りたいです。
37		もっと多くの人に知って欲しい。
38		いつも感謝しています。
39		しずくちゃんが、だいすき
40		自然が豊かになって欲しい。
41		鹿の肉を売ればいい。鹿なべを。
42		しずくちゃんが可愛かったです。

第41回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム(もり・みずカフェ)意見集約表(意見・感想記入欄に記載された意見等)

番号	項目	記載内容
1	整備 森林	森の間伐ももっと進める必要がある
2	の 水源 環境 軽減へ	水が汚れるのは、あつという間だが、きれいに保つことは努力も必要。自然から得られるものではあるが、この自然を守る努力が必要と理解している
3	情報 提供 ・ 普及 啓発	環境教育との連携を充実させてほしい
4		川崎市と山北町交流事業に参加しました。子供が森づくりを手伝い、楽しく学びの時間となりました。有料でも良いのでツアーをたくさんして欲しい
5		今後も若い方達に伝えて下さい
6		いつも使う水のことですが、あまり知らないなあと思いました。もっと知る機会があれば良いかと思いました
7		取組を若い世代にもっと広めて欲しい
8		水源環境税の使い道を知りたい
9		森林は大切です
10		植林も大切ですね
11	その 他	私有林が火事になった場合、誰に責任が及ぶのか
12		森と水の大切さがわかりました
13		どの様にしてあのきれいな水になって来るのかと言う事をもう一度確認し、自然の資源も大切にしなければなりません。森林もその大事な役目なのです
14		神奈川県に大雨洪水注意報を良く聞きます。雨水を利用できたらと思います
15		清水の湧き水を利用しましょう
16		水道水は安全第一と思います
17		川崎市の水をもっと美味しく
18		水は大切な飲み物なので、安心した水を飲める環境を大切にしたい
19		水は資源の中でも最も大切。妻は台湾出身ですが水は買うものです。きれいな水と環境を今後も残したいです
20		神奈川県は他県に比べて水源・ダムが豊かだと思います。これを維持してください
21		これからもおいしい水を提供する為によろしくお願いします
22		税金の使い道を明確にして欲しい
23		他県よりも進んで取組をしていると伺いました水源がきれいなまま保たれるよう私達市民も協力していきたいです
24		無くなった後に、源流地域が地獄を見るようなことがないように、お願いします。山は資源や利用するものではなく、敬意を払い尊重すべきものです
25		20年間の大綱を延長すべきである
26		県と国の税のマッチング
27		H38年以降の考え方
28		誰が何を求めているか調査してください
29		知らなかった事が多くて勉強になりました

番号	項目	記載内容
30		水の大切さを、これからも伝えていって下さい。企業が買い占めることが無いように
31		色々知ることが出来て良かった
32		興味がわきました
33		他人事だと思わずにいたいと思う
34		しっかり仕事をしてください
35		いいと思う
36		命を守るためによろしく願います
37		「ブラタモリ」とかで水の事などを少し学びました
38		面白い！水源について興味がわいた
39		川の元が富士山とは知らなかった
40		富士山の水を飲んでいる事に驚いた
41		どこから来ている水なのか知りませんでした
42		水源は多摩川だと思っていた
43		いがいに水が豊かだと言う事が分かりました
44		自然と水をもっと大切にしていきたいと思いました
45	その他	県外から来ている水を使わせて頂いて大変うれしいです
46		水不足の時に「丹沢水系かな」というのは気にしていましたが、勉強になりました
47		水の大切さを知った。税金の使い道が大事
48		スタッフのみなさんが親切で良かった
49		非常に良かった。良く理解する事が出来ました
50		分かりやすくおもしろかった
51		意外と難しかった
52		私は6年生で、4年生の勉強は忘れちゃったけど、いろいろなことを思い出して面白かったです。でも、ほとんど分らなかったです。
53		色々知らなかった事を教えて頂きました
54		説明で良く分かりました
55		とても参考になりました
56		全然知らなかったなので、勉強になった
57		これからはこの事について興味と関心を持つことにします
58		半年位前にパンフレットを見た
59		Good !
60		覚えました
61		知らなかった、間違った事を覚えていた

第42回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム意見集約表(意見・感想記入欄に記載された意見等)

番号	項目	記載内容
1	森林整備	森林の公的管理終了後の対策の効果維持の方策が必要で、その為には、行ってきた対策の効果検証が欠かせないと思う
2		国の森林環境税導入に伴う、森林関係諸事業との整備等に係る費用の分担を効果的に行って頂きたい
3		荒廃した森林を健全な状態にするには、50年、100年と長い期間が掛かると聞きました。水源環境保全税は20年間のお話ですが、税終了後も森林整備は必要だと思います。お金が無くて、森林が荒れていく事が無い様、水源環境保全税の期間を延長し、神奈川の水源を守って行く事が大切だと感じました
4		人工林の手入れはエンドレス。更なる保全・再生活動の必要性を改めて感じました
5	水源環境軽減への負荷	河川の中流域への整備
6		河川に関係する事業について、広範囲な取組を検討して欲しい。相模川水系河川整備計画が策定された。今後の取組を整備計画と一体化した内容になると良い
7	情報提供・普及啓	もっと県民に重要性をPRする。一般的に水の有難さを認識しないで生活している人が多いと考える。水資源に富まれている神奈川であり、その環境・保全に更なる対策を積極的に進めて欲しい
8		水の事に興味がない人でも身近に感じられ、参加できるようなイベントになると県民の意識が向くと思いました
9	動市支民援活	森林整備に関して、ボランティアで参加していますが、交通費も出ない状態です。手弁当はOKとしても、せめて現地までの交通費は出ないものか…このままでは先細りになります
10	その他	支援は経済合理的でなければならない。林業が成立するような施策が必要
11		人材育成(待遇改善)
12		神奈川県として林業に携わる方の将来像をどうするか。現状は水源環境税に頼っている所が大きい(将来共に継続的な支援(森林の維持整備)をする方法等)
13		国が実施する森林環境税が始まるが、水源環境保全税との関係について➡自治体配布になっているが、県全体への影響はどの程度か
14		参加した討議グループの中で、20年を限度としている事に対して、永続的な取組を求める意見と、経済の(林業としての経済的要素も含めた)循環を求める意見が印象に残っています。意識が高い人の集まりだと思いましたが、そうでない人の意見も聞く機会があればと思いました
15		本計画時点で丹沢の山は、どの様な森林にするかという理想像が議論われたのでしょうか。成り行き任せという一面があるようです。自然を相手に想定外の環境変動が考えられる昨今という条件下で考え抜く事は難問題である。100年、1,000年先の丹沢の理想像を作ってから計画を作るべきであろう
16		水源環境の保全に今、取り組んでいる事を我々の団体の中で、いかに継続されるか、後に続く者を育てていくかが重要であるかを学びました。団体の中で議論をしたいと思えます。ありがとうございました
17		県と横浜市、川崎市との調和・調整等が必要(ムダな金/作業)事業のダフリングのムダ、目的の相違はないか?
18		金目川水系の里川づくりへの評価はいかん!
19		各発表者の内容は非常に興味深いもので、もっと深い長い話として聞いていたかった。それぞれの時間が短かった為か中身が上滑りしているようで、内容の理解がいまいちだった。一生懸命聞いていたが、話がどんどん通り過ぎて行って、理解が深まらなかった。もう少し時間に余裕を持って「参加者が良かった」と思えるように時間割を考えてください

番号	項目	記載内容
20	その他	子ども会場について、森林に関心を持つ人達の層を将来的に広げていける可能性がある。発表者の時間管理をしっかりとコントロールしていた点がとても良かった
21		室内の空調が弱く寒かった
22		時間が足りなかったと思います。お疲れ様でした
23		開催についての周知をもう少し広げ、一般市民に知らせる対策の必要性.子ども会場の催事内容が、良かったと感じた。例えば室内ではなく、オープンな広場で気軽に参加出来るような方策について検討する方が良いと思います
24		色々ありますが、何よりも一点。最後のまとめのスライドはどういうことでしょうか。鈴木先生が良心で「昨日事務局が用意した」と暴露してくださったから分かりましたが、討議が行われるよりも先に結論を決めつけ、しかもすべての事を「必要」としてまとめていたことは、大問題だと思います。県民参加をバカにしているとしか思いません。少なくとも、分科会Cグループでは、河川の汚染対策について疑問が出されていました。県民の声を聴こうという気が本当にあるのでしょうか。県に都合の良い部分だけ拾い上げて「県民参加」にしようとしていませんか？今一度、お考え頂きたいと思います。
25		配布資料も良くて、来ていて大変参考になる
26		スクリーンの説明時、赤外線ポインター等をクルクル回す等 ➡2WAYはダメ ➡双方向に発表の仕方の訓練(練習)が必要。一般会社ではあたり前の事